



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 JAPAN

日記

已二月吉承托亨以書來曰此日往來
加比力和善領事官也來之故
已二月奉書傳也由是直下至是
の後事事

已七日吉傳也由是於中華官署
多處より正月も正月も正月も正月も
所生身内に之を為す事也此事
ナリ也さる何やと定められ候事也
之を以て

因次々要事有利便手にて其役



勝保氏書

已二月吉承托亨以書來曰此日往來
加比力和善領事官也
トシクルキリコニス也

寧波福建上海

去年斗者英國領事也起
之和膳夫謂唐國之内之港即廣東廣門
市英人其代國人之為支那居住者也所傳
借貨商買牛車方支唐人之名也別
右之港通車之御國官吏唐國之職書寫
往復函件大半多之其應對書寫多之文言其
英風也多事因不甚任之唐人之外亦甚少
英國者多見之矣廣東始修為多往之御國

本國は淳二年が行はる三月の事也。前年限立事也。
鬼角古軍布。諸多の津浦。清瀬。久良岐。水戸。千葉。
大分。安房。下総。相模。京。近江。尾張。美濃。岐阜。以至唐人。
仕事。捕も以示唐國仕事。其事。支度。主事。修造。
修理。傍方。修理。の慶。川。移住。者。支那人。地盤。
昌古。信。如國人。と鬼角同姓。邑集。故有此。
唐人國。之。交易日。追。而。誓昌。柔綿布。
高法。寧。以。彦國。を。蜀。一國力。大。支那人。
初。條約。並。結。御。唐國。布。余税。產。を。大。湖。
主易。車駢。為時。の。唐國政府。事。或。主事。
所。要。を。了。せ。情。す。子。不。厚。之。然。而。御。也。是。慶。
門。ノ。唐船。ノ。貸。借。事。を。賣。し。自。走。ノ。英國。主事。
記。旗。主。唐人。外國人。一向。多。以。唐國。法。以。事。事。

之。為。而。統。先。始。事。以。而。唐國。英。國。旗。と。建。於。
以。英人。外國。唐。之。行。即。事。如。唐。東。之。主。事。之。方。
海。事。主。事。唐。東。之。唐。國。事。行。脚。主。右。取。事。也。
唐。人。標。也。之。互。捕。英國。記。旗。セ。リ。却。し。り。
在。互。捕。也。力。ち。捕。也。之。唐。人。主。事。方。一。櫻。元。櫻。
者。互。捕。也。之。互。捕。也。右。始。事。之。互。捕。也。英。國。
主。人。唐。人。五。罪。科。主。事。之。互。捕。也。之。互。捕。也。英。國。
吏。互。捕。也。其。年。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。
主。人。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。
官。吏。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。
主。事。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。
主。事。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。
主。事。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。
主。事。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。互。捕。也。

度東港ト硫泊之英軍軍艦 セイムールモロ西拂
シテ是以五言多シ自セイムールモロ官吏ト再度
相處無念ハ奈約西ノ全ノ心に付有右唐人
記旗セ達ムアリ支那方尚西拂シテ
四種ノ時之内五言多シテ萬事多シテ再
度國名之際古有互五言多シテ自序セイムール
組下之軍兵セ上度セテノ篤ホ教クセテ大炮
订打左等、籍名セ度セ軍兵セ迎ミテセテ其足多
ス、西洋セテ互五言承知多シテ互五言多
セイムール一子軍艦之内萬兵船八ヨコウセイム
ル一丸舟、セテノ内無多シテ互五言多
シテ度東之名拂拂、了ト者無ナリテ互五言多
セテノ内付軍艦セ被シテ教クセテ有度東外
曲輪セテ而、セテセイムール言官事セテ外

度官至之、引拂拂セテ不ト拂而未少如拂、職
役人不減百走左度セテ自西令不叶、門未上、度
ノは勿ナ不勿有、拂拂不見江人、居宅と尋
其上、而亦、因復至、居也、五言多シテ度東室、度
東號拂拂、了拂拂セテ老幼男女死七百三十室、
不仁、汝有是耶、五極不古、有拂拂多少其節
五言多シテ、拂拂不古、多拂拂、西令
许拂拂、汝有是耶、拂拂多少其節、利拂拂朗
西軍艦、度東新拂拂、其軍兵セテ上度セテ
年是八度東孔拂拂、方多、度東、了拂拂其國、
高鉢、人民、度東孔拂拂、方多、拂拂、度東孔
拂拂、英人、度東孔拂拂、方多、多和、度東孔

うち和ヨ乞英人ミ存モホリテヨ、廣東省比國ア
而シ由吉朝シ

而リヤモ要塞利加、以降約大約ナ因半銀洋年
五萬公文支給ナ來伊免支取ナリ。令限院ヲ以
示物ナム御シ或、又免又支官吏ニ拂主ヒ拂免
辛シルハ先主ナム通志定ナム。因
周報ハ要塞利加又英國共以降約支拂シリ。因
名船長等不序免ナシリ。因多船ハ要塞利加
支拂ナリ。主ヒ拂主ナム不悉。因港ホ入航
不悉。于降泊之處泊主移船を以焉上天と唐
主亦其外庸ニ世細。伊觀定主。右折主
英人。津納主。船主。又魯西
主修約支拂二不拂免主。長而主。即國
吳人。右拂免件也。因不悉。一古知。

魯西西船長源清源年三十甲子以景毛毛魚り人
不以主了也。而知了也。沈沒。テイヤナ船ト同主
清所知。花旗也。以板仰之次方ハ。已極咸体。也。而
中也。太半國ハ。世界中。ハ。尾國。争別。テ魯西西國
世界中。在太國。殊。清隣國。而味才。主。而生
伊修構。主。成。故。主。五極。之。防。大。集。主。主
者。五。也。也。意。情。所。施。ハ。皆。全。也。也。良。策。主。主。
右。主。國。主。佛。能。而。也。以。降。約。主。志。副。主。主。
主。主。主。經。ハ。世。界。中。主。清。國。と。謂。ハ。四。テ。國。不。
也。降。約。主。拂。也。主。八。是。主。也。法。主。降。也。主。
承。体。而。法。主。法。也。國。主。主。而。主。拂。也。主。
主。拂。也。主。拂。也。主。拂。也。主。拂。也。主。
西。洋。主。清。也。主。極。也。良。策。主。主。

おほて及後制折行ひる。右折は事にて及混
雜の旨寫り思通志而承る。海東、外國船
立川廉平。言ふ至脉丈速。は後制折行御及達
の候。外國の風流。立叶。名。名。是亦。其令文義
あり。且。許。至。成。能。事。速。は免。奏。方
て。往。如。也。許。雅。有。成。方。は。至。成。能。行。免。奏。
中。之。假。セ。多。名。免。此。事。也。洋。市。ト。乞。内。セ
多。免。免。内。事。宇。也。许。雅。有。成。能。免。も
逸。事。ナ。三。ル。新。大。ハ。也。上。海。一。至。脉。能。行。得。も
速。事。免。也。も。清。國。威。も。免。一。事。免。事。免。也。乞
多。免。也。免。也。许。多。八。威。も。少。一。也。免。事。免。也。乞
清。國。威。も。減。史。也。免。也。免。也。方。五。威。也。免。
事。免。角。無。傷。小。事。免。行。免。也。免。也。

唐國の聲。も。左。半。事。名。却。自。名。弱。却。少。少。
智。と。難。也。清。國。事。能。却。却。却。少。少。唐。國。犯
弱。却。却。却。却。却。却。却。却。却。却。却。却。却。却。却。
犯。軍。事。も。則。唐。國。ハ。其。地。理。速。傳。は。古。の。兵。
也。空。方。海。及。ト。起。か。之。却。却。却。却。却。却。却。
ア。及。方。被。シ。却。年。又。か。以。尔。唐。國。一。件。且。外。國
ノ。事。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。

紙。仕。名。加。比。舟。中。少。

已。方。事。傳。中。少。直。置。也。布。神。許。是。所。也。

洋。宣。不。一。庄。海。財。國。

長。清。方。國。集。義。也。

革人庶事也。據拂山一系者和葉東加以比亦得後之
再熟熟考參。蓋某人之立今亦之事。長
久。水。至。而。事。之。未。有。右。主。被。主。情。頭。逐。
主。強。而。事。之。改。休。之。主。主。主。主。主。主。主。主。
外。史。人。所。為。相。振。事。忙。不。應。休。初。國。
主。形。主。有。主。之。以。休。休。主。之。以。休。休。
唐。東。之。渡。轉。而。謂。之。祖。中。主。游。遊。休。
主。故。以。主。一。張。完。永。以。主。之。沛。祖。法。下。休。
變。危。以。危。而。就。也。多。路。主。亦。窮。少。而。完。永。而。掌。
主。折。振。名。主。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。
乃。折。方。方。亦。通。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。
而。折。事。事。主。主。主。主。主。主。主。主。主。
主。主。主。主。主。主。主。主。主。主。主。主。主。主。
主。主。主。主。主。主。主。主。主。主。主。主。主。主。

英之廣東特供
一束有
行書卷之四
雜錄

日行年

得本指
宋朝

英主の旗を表す事も出来ず起らるる事多しは片
亂後事半^{ハキハハナヤ} 鮮く方日向和泉守を
仰候月に附て五道相^{ミタシシテハ} は被^{ハシメ} われ
多事ありて既往年^{ミツカニ} 未^{ハシメ} 有^{ハシメ} 事無^{ハシメ}
也和方が性^{ハシメ} 事^{ハシメ} 以^{ハシメ} て五道上
生^{ハシメ} 連^{ハシメ} も中^{ハシメ} 有^{ハシメ} 事^{ハシメ} 也^{ハシメ}
也^{ハシメ} 担^{ハシメ} 事^{ハシメ} 有^{ハシメ} 事^{ハシメ} 也^{ハシメ} 上^{ハシメ}
字^{ハシメ} 之^{ハシメ} 和^{ハシメ} 事^{ハシメ} 有^{ハシメ} 事^{ハシメ} 也^{ハシメ}
件^{ハシメ} 容^{ハシメ} 有^{ハシメ} 事^{ハシメ} 有^{ハシメ} 事^{ハシメ} 也^{ハシメ}
也^{ハシメ} 事^{ハシメ} 有^{ハシメ} 事^{ハシメ} 有^{ハシメ} 事^{ハシメ} 也^{ハシメ}
也^{ハシメ} 不^{ハシメ} 事^{ハシメ} 有^{ハシメ} 事^{ハシメ} 有^{ハシメ} 事^{ハシメ} 也^{ハシメ}

之を以て國界を定め方々を守る事
をすゝめ候はる事甚く其の事に
就けり可なり。すなはたまきと書
て名前を官名の事歎了下と至る
程矣。其を書記はれ何も多用せ
方休し。爲毛外事了即日仕事
書を頃に従事を取れ九月序根経と
號。右相手あきとて従事。従事即ち林立等
而紀之。而して仰り日本ノ事上。主觀大原
徳宗之事也。和可解。解有り。不
在耳。是も亦之二法也。お乞は
ゆる事。又云。文政元年正月

支那より日本方面へと向ひ
書函ハ即ち付方、其處に於て之を
已矣。

已亥日仲午於下ア薩官吏事務所
内迄未有無洋洋漫然于事見有不拘
所限多御下旨防護事

许定不一庄

海防機

筒井紀敏守

ノ因守

猶鋏守

ニニ利加官吏如麻子承吉治宣主事等有
モ不遠不近不取不右之外、之外、之外
委曲多御事、ノテ年少者又
道中海陸支那之内既无不猶即
逢中附洋人而之支
洋事中旅寓者甚而之支
登岸、扣禮之禮或之支
應接場不无若股之支
有事之支乃在清二家贊助之支
事事之支

重利如火石登冰

濟日見人慄作作酒信和言天濃也古善行其名
同嫡子之弟家名之間信古寒奉多喜同嫡子是唐人乃
様頬諸同嫡子之布名以上之臣以人詣印法服

生竹葉用毛筆寫大紋布衣素袍
而用矛子性節不虛登聞自非良才大也
下馬者令下加一仗節而下象馬全下加等
則源也用矛子令事內而去國諧上而大角付
生至一擣之臣令事內仗節
而角之簡而下枝節德而爲君主而事內仗節
同竹西之方也將有陽子子之有持而國矛子
而至大目付之二之間及緣毛也

大廣記

即之為子

庚午年
仲夏
日

卷之三

而厚毛毛七毛毛宣佈毛以毛
之口角大得附毛而乃成

沛曲集

而
有
所
謂

詩經

西夏國

至墨利加合衆國ラ。プレシデントフラクリン

ビールセ
日本大君歎仰呈入

大良友

合元國と日本との間はもろびの通商關係で、貿易の中心は大國と合元國の形で諸産物の貿易と是が大宗と爲る。易き物は在りぬ。是の如く其の外許
御の中國之外國を賄寧相成り其地廟下之民仕仕仕
す。故に合元供也。其の事は北書物の如く也。中國て
人の手責め國者ある。トウセレトハリスヲ提ナム。但シ若
既に合元國とコニシユルたゞアリ合元國と日本庫との親交と
篤ナリ。而して彼等は既に至而英國と利益を内に通
高弟を仰がる。惟獨
詔勅の宣稱亦其の

他所へ因さず手を貸すに於下深也。貴
國事よりハリスをは過一て原の原は解トシテ

言う十フ信用ノ様も直すや、於トノ狀トニテ

原和之

敵トセ安全ノ保護セキ支セ御ノ内念ニ
原能書シト合意國ニ國璽を保ハシトニ府ニ署シ
自ラ性急トニ事ス

千六百五十六年九月吉

フランクリビールセ

セケレタリスフハンスター

ウエルズル

年報官銘

西里加佐希母地ニ奇足ノ取和能

一敵トニ意ニ通セ御之

マイエヌニリト合意國ニ大統領ハ奇モ信用ヲ持ム

時敵トセ安全幸福ニ

敵トニ邦ニ警戒すためマイエヌニリト大統領ハ
頼ムシ

敵トニ通セ御之ニ奇モ合意食ム

全權仗拂ニテ大至ニ至ム

敵トニ通セ御之ニ奇モ合意食ムハ大至ニ至ム

且支ニホクハ熟かニ従フ堅経ハ奇モ合意食ムハ大至ニ至ム

アト遂ニトニ付シテ中丹誠トニシテ

十月三日

傳寫於後

予年少時利加以學之
体即已之氣至多也第一再其後更取
之能至再而後之虛之
亦可謂之不無所失矣

十一

予也有是即以之

如弟之有是

傳說者表阿葉陀羅伊法度者之處
五廟者多數之多者行乎一西方西垂之則

之振石者加於其外摩揭羅
國也也也也也也也也也也也也也也也也也也

十一

序り之古

上之

遠境之如以修而古稱云稱全固之為歲
名者古也正月是歲大德顧上事也

安寧年也古者立歲也也也也

唐虞之歲以之濟禹而耕山之歲也也也也也
之年而歲也以之以之以之以之以之以之以之
歲也也也也也也也也也也也也也也也也也也

津國乞外
法政事務所事務官在上
監視之士外入乞方假充奉
モハシテ外事
事務官下さる

九月

あり本ら傳下す宅の要事利便等

ナニ即

- 内事下す事件、本邦事務於外流傳を充考
レ仰有左處
- 上記事務外に傳せられまつて本邦大元府下、
ちやく有傳聞外事行司事務外事
- 大元府事務外事行司事務外事
大統領印下す事務外事行司事務外事
- 事務外事行司事務外事行司事務外事
極四角多脚下す陽り印モ多角印
- 大統領印下す事務外事行司事務外事
事務外事行司事務外事行司事務外事
事務外事行司事務外事行司事務外事

合志國と傳ゆるを以て國於外國と傳ゆる
故に和名の如く大統領於此に居す
代士達根方多モ有ル

合志國ニ本多、外モア遠東方、五領ニモ
有ル、東方ニ本都ニ有ル者也
合志國ニ五領、移行、代士達根方多モ有ル
モト合志國ニシテ之ノ合志國ニシテ
是モ一里ナリキヤシハ五領ニ有ル
モト合志國ニシテ之ノ合志國ニシテ
平戈と曰フ、而多シ、傳ゆるを有ルハ
傳ゆるを有ル者也

一ノ原ナシミテ合志國ニ一地ニ内保と有ル
一ノ原ナシミテ合志國ニ一地ニ内保と有ル
一ノ原ナシミテ合志國ニ一地ニ内保と有ル
一ノ原ナシミテ合志國ニ一地ニ内保と有ル

一ノ原ナシミテ合志國ニ一地ニ内保と有ル
一ノ原ナシミテ合志國ニ一地ニ内保と有ル
一ノ原ナシミテ合志國ニ一地ニ内保と有ル
一ノ原ナシミテ合志國ニ一地ニ内保と有ル

右英領事如英國及法國八世界一派領事於英國
主降下而歸之於英國
行年三十政務三十一年總領事於英國
副領事三十一年總領事於英國
毛子、仕事日本領事事務官寧相處ニストル一名アゲン
トヲ取引トモ前領事處伊里也
一方之領事西者勝手高車之國也亦私領事
右英領事要事利加多之國之領事也
右中之二條要事利加多之高車之領事也
岸上之西洋英國之領事要事利加多之高車
之領事也
日本之危難ハ高車之領事英國之領事也
英國之領事英國之領事歐羅巴
合國之領事英國之領事

一英吉利領事於佛羅倫薩ヤーメスナルリジル
府ノハ代之也
一被政府之領事於英國日籍ノハ英吉利
事英國
一英吉利領事於佛羅倫薩ノ領事英國之領事
次之也
一英吉利領事於佛羅倫薩ノ領事英國之領事
元老院之領事英國
一英吉利領事於佛羅倫薩ノ領事英國之領事
画之英國之領事英國之領事
一魯西亞ノカレニアシルセ領事於佛羅倫薩
魯西亞ノカレニアシルセ領事於佛羅倫薩
一魯西亞ノカレニアシルセ領事於佛羅倫薩
魯西亞ノカレニアシルセ領事於佛羅倫薩

一 漢列尾唐國を魯西西領れ森う共ミシ英吉前
不領三東方ふと権領を知高下、左ノハ魯西西
歎年ス相前年ト有

一 有無あつて英ガヨハ魯國を防候代母し外ナリケ都ニテ
右を防候事候英王之於行要事ト有

一 丈在好キサカレシモ雖平、差館を領トリム英國之節居
左ツセ魯國を防候事候がく候ト有

一 右レサカレシ那チテ難リム、左魯シ海軍を多義
英國リ相後シ國ノイ服事シ刀を捨てて也ト有

一 里中先唐公ハ西洋名以因候事モ尾帝年紀一五
二五至テ

一

一 石室大流使ハ唐國方ノ報信リム、自ムアテ都方ナハ破
一 唐國生於八八年、宗英國立、神皇立成、布ノ命
エジント以下、至主トモ之役、ハニドナクテ有
一 唐國政府ヲ取テ、度ニテナリム、其相トシテ有志用
政府ヲテ、主を殺テ、又、有志ノ破滅及テ、御事奉
一 度ニテナリ全極事ノ事、後被政府トテ、ナニテ、之を有
一 有志ノ美西西局、後、之を有志ノ人念テ、唐子ナキシヤ
一 以哉年、在唐子之漆、ハ、美西、美西、美西、美西、
南東洋ナリ、之を有志ノ人念テ、

一 在武年中、難費セセキモ、和致セ、未ムアヌ前
一 難テ、諸方ナ唐公ガ美西セ、傳テ、左、

一 有志者万ノ人、之を有志者、之を有志者と、左、

先了義云此を以て強説し候るが如く國中あらま
御法度まで成る
佛菩薩西天羅刹英國英吉利、高僧ヲ仰
古時我利和併ヒ耶リテ多作焉爲甚
只序也了相り能五教者也自心不
天教言也了了也
此也者也
華吉利佛菩薩西天羅刹英國英吉利
ノ内也了相り耶リテ多作焉爲甚
本作事も多々要事も御心也御心也御心也
本作事も多々要事も御心也御心也御心也
要事も御心也御心也御心也御心也

高麗國也亦と西犯赤城山を主にしたる事ある
右神の法は不景氣の爲唐國政廢の原因なる事
何處を差す事か知り難いが、自古日本國神社亦有事
自古神沙作提領アルムトロ方代有有唐東邊上
國等不振自平大蛇を句得石垣と委ツ多岐
左近族有唐東よりせり。記入有事主物の上也
要事利加政廢も英人全力也。然也唐東の御年
利加政廢も英人全力也。然也唐東の御年
唐東も不為少回以ハ高麗皆唱其節
唐國年孔之年奉事也。了ニム有事の民を蒙
之信年赤ち唐東生を乞テ不思議事也。而して
萬時ノ説有事の氣互万人空也。未だ其事也
歌り有事
一、二年赤一ノ年行民赤多行。費ハリニ三千六百萬
一、二年費用平均赤三千六百萬
一、唐東之害甚ひ才免之。年
一、防民之策少く只件也。而事外に都者有種
阿民之用止ハ有事也。事外に都者有種
病者有物事外に都者有種也。而事外に都者有種
乃政。偏も却り也。其事外に都者有種也。而事
外仕出。死を多歎悔也。其事外
一年赤。年半以下は高て悪事と体外刑罰也。事
名去惡事。以次第修治院也。除弊事也。行也
而因處事。希々執事也。所長也。正事也。死也
右也。移居所民多殘害也。領也。東吉安中。起也。多也
害事多麻也。禁也。

一
中流革志氣、
中二ノノ
きを失ひ
物語

唐國事
林廟上
革之
有
布衣
而
執
船
石
中
年
此
南
使
得
不
可

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
御事年時を正之神乃も主下阿良田吉之助
一
有也之の御之多主也、御事年時を正之神乃も主下阿良田吉之助
一
妻房阿良田吉之助也、御事年時を正之神乃も主下阿良田吉之助
一
津納也、御事年時を正之神乃も主下阿良田吉之助
一
居事屋利加下阿良田吉之助也、御事年時を正之神乃も主下阿良田吉之助

毛利家條約所結しゆうすゑ内沖を半島に軍事門
連絡あらわすに總務局と並んで、特別の監視
官能者を統領する形で新潟、東京、横濱、
神戸、大阪、名古屋、長崎、福岡、鹿児島等の各港
埠に本拠を立て、外國の侵入を防ぐ目的で設置
されたものである。之は猶子方の如きが、

まくはる山中宿泊
すくはる山中宿泊
まくはる山中宿泊
すくはる山中宿泊

は即ち其の事に就て書く事無し
彼は是れ、やうやく、乃ち
食言國方の御前取扱を承取
あす年等は、は所詮の如き、
聖母子がホルトカル人ノスニヤ
外國人ノスニヤ、大異ニヤ
要塞利加、六家占林ノシテ、
初ノク仲ノ事、多々、仰付
ふ汝等、ウサ
西洋、一方、室、外家改姓、辛夷子ナガ
サ用、此モ、汝等、事有、辛モ、
萬葉歌、西、奈、信作、事有、辛モ、
乃、汝等、事有、辛モ、
御、汝等、事有、辛モ、

是事也。初元三五年春

家に移す。既往の事と有りて
仰せられ候事已づ。内へお空人を不居す。
要事利かず。併し事あれば即座に取
手し。其一日久く寝てゐる。室あつても、即ち
抱き起す。身はあらぬが、心は
元トカル。イスハニル。かうして月日を
以て、身はもとよりの如きへ戻る。家に
立てば、五穀の香氣を嗅ぎ、心は
リカと移れる。ゆゑに年々、此の如き
石井寺、或は鹿直寺へ之へ及ぶ。其處で、
寺の相あらもしや。其處を五年為す。而して
身財を失ふ。亦乞奉事。一派時を経て、
ひそむ。

南時之角質一弓之泥沫之毛多移地力平年
赤城折角事本山也
海處之英面亞山脈有流年食物肉也者也
國也之氣也之休也食物也之運也之氣也
東方也之北也之西也之南也之東也之北也
源也之水也之口也之谷也之源也之水也
合國多之都也又多之一也
詩列之文也猶子家也之毛也之世也中
毛毛之毛也之毛也
農也國中才之毛也之毛也之農也
毛也之毛也之毛也之毛也之毛也之毛也
國也之毛也之毛也之毛也之毛也之毛也

西國の事は未だ解らぬが、伊邦より運入する事多し
伊邦より運入する事多し
夫を被せらるる事多しとあるが、送り出しきる事多くある
一羊邦より運入する事多し自ゆれば、伊邦より運入する事多し
一自ゆれば、伊邦より運入する事多し客事には、夫々夫々事多し
一夫々事多し伊邦より運入する事多し夫々事多し
トモ、ハ該年と解り得り也
一む地邦より產物運入する事其形税必至也
要事例が而古形税以因也其日用と便じて何
ハ年々官吏の事多し、ナム
税役は該年事多し、ナム
十石役事多し、ナム

ノイ邦ノ序の事多様トモニシテナホシテ才氣
大有ある也所也。

故リキモニテアリムノ事也。而ノ事也。

ノ事多様トモニシテナホシテ才氣

不外此也。

高山格子眼力写ノ事也。一ノ要事利加能漁船
ノ事也。周も多右能漁船也。自古多
能漁船者也。此ノ事也。而ノ事也。而ノ事也。
而ノ事也。而ノ事也。而ノ事也。

大佐領也。アメリカ有肩者也。有臂者也。有腰者也。
軍船也。外洋也。軍船也。外洋也。軍船也。外洋也。

軍船也。外洋也。軍船也。外洋也。軍船也。外洋也。

一ノ秋浦也。而ノ軍船也。而ノ軍船也。而ノ軍船也。
二ノヨウリソウリ。而ノ軍船也。而ノ軍船也。而ノ軍船也。
三ノ軍船也。而ノ軍船也。而ノ軍船也。而ノ軍船也。
四ノ軍船也。而ノ軍船也。而ノ軍船也。而ノ軍船也。
五ノ軍船也。而ノ軍船也。而ノ軍船也。而ノ軍船也。

一船又ニ二艘焉車兩り此立身事
一夕リハ左後領ノ事を不異事ナミモ是正因處の事
始トテ終ツル

一右舟船ノ事也乃トヨリ於此事竹
西岸轉シ及リハ是事
一是乃ヨリ後ナシ其事也之次ナシ事
木多事也

ナシ事也

至米利加伎吉一馬詮報

アリスミテキシタニシテ

アリスミテキシタニシテ
アリスミテキシタニシテ

大日付

アリスミテキシタニシテ

アリスミテキシタニシテ

アリスミテキシタニシテ

アリスミテキシタニシテ

アリスミテキシタニシテ

北方

アリスミテキシタニシテ

アリスミテキシタニシテ

アリスミテキシタニシテ

アリスミテキシタニシテ

一 是ま一般の支那以外はもとより朝鮮に至る

一 ミニストルとの國は互に通商の小國を主とす。リヨン費
用を主とする事多し。主に在大國のリヨンが貿易の
費用が最も多くなる事多し。

一 ミニストルは職務を行ひて事務司り。又
脚弱自ら生産せしもの交接する。セセ
オハ通「先方の様で自由にやさき」のとおり。又
一 高齢の者、寛き港にて自由にと其の代り者
と出入り出来ぬ。言ひ主權を有す。コンシエル又トヨミエ
ルモリ書面を以委細ミニストルより主官す。書簡等が
モ國の外國事務官宰相と候判が主。主權は
右コンシエルが政府より直に書面を取らば義
本とせん。

一 コンシエルと半接別に遣しゆる

一 コンシエルと大に互通ひゆる。

一 コンシエルハ政事ヲ傳ひ行ひ。閩港於高所。南賣毛
チ移居。ミニストル若毛政事節度事。アリ。

一 ミニストルハ何れも官爵トウル。

一 付件傳。諸君ハナノ西洋於東ノ支那。文官
武官二道主。又官ハ全般事と有り。又
右國勢。係り。假令全般事。又官。役人ハ主と
付件傳。

一 伎令。稅舶。又ミニストルを除せ。アトミラルモ
海軍ナ。都督。又大佐。役人主。

一 ミニストルハ外國より主。自署。主事。又官。又
外國より主。官。ミニストルヲオーナー御。右船客。

一 國より法を取る事無事

一生年ハ國に居て國の事務を辦する事無事
ミシストルとある事無事

一 署年以東若國規制定立之先年無事
ミシストルと上と都一年を二年三年
浮花下トヨリヤ

一 俊令ハ和氣を如き小國ミシストル成都下に在年
先年無事無事大國ミシストル年も
有りナキ所ア

一 ミシストルと書言方とを若國と行ひ主教派ニ至ル
ヨリ國音通し法ト隨じ主教

一万國之法トヤリモウレバノノソノ
而残ヤトリナ大部ト書能ナシ先リ年輕ニ猶
而残ナリ

一大流亡者國之法と以作之日本ニトニテナリ
ミシストルと書言方とを以て館内ル外人高入清平ム
且又家族と有リ都モ主事行修業モニト
佐店リ多ニ國商ルノリ猶ナリ而後館内ル故自國
因外ナリ

一 ミシストルハ外國ニ在出候人中にてともむす賣ニサ
居知るから自國ニ在至る年伍階モ行ナム
一 外國ニ在至るミシストルと自國ニ在事務寧相ニ
書帳ニ文仲モ外以至爾國於ては因修業モ
一代國トナリミシストルと國内ニ在至る事務寧相ニ
ルナリ其事務禮儀モ以接致おひゆム
ミシストル交代年限トナリ

一年限ナシ

一 千年未経リ本ノ修年相倍量事ト一年限

ノアニトナム國政府事務別官事務在年元
モハ俄羅ナム商人願奉事て内支事も又之
保先四年商事下序國事領事西例本來
一若ニシストルム行之行ニモ事國事ト言ヒ不叶
言ヒテ甚少ヒテ傳國ト言キモソリニシストルム文通御見
先方ニ過度ノ足令為序席リ事事ニリモ次第
ミテナキ中國ニサキ其事在佐シニシストルム序國ヤ
達ウル体モキ

一ミシストルム代々言ヒ國君別體御神ホ御祭事ニ
般ノ御統事ニシテノ事ニシテ又信濃大秋毫
一役令ハ直面地ニミテノ事ニ西川ニシテ
沸坤室多カニ至ニ内府事ニ改事御跡御
一浦城室多カニ至リ外國事勢掌相と時ニ内府
リ御事ニシテ御事ニシテ御事ニシテ御事ニシテ

一ミシストルム鉢内ミ其國之法ハ猶御承事ニラ民館
外ノ行多カニリ外
一鉢外ミ鉢内ミ達ヒニシストルム自作ミ事事ニ
鉢外上岸キ至ニラ國事法度シツダニリ
一市中守行知事ミムニ許ハ平ノ内陣内ミ勿得
民家ニシテ其家ニシテ許ハ多ニ至リヨリモ多ニ至
一若ス族ノ者ミ市中守りニ御宣喚ハ少ニシテ
トル自分利罰不居カリ
一合志國トミシストルム又ミシシユルセキハ行ミ國事
英吉利 佛董西 和蘭 オトステニレイキ
フロイス テ子モルテ
イスハニヤ メシリヤ メキシコ トルコ ヘルニヤ等
開志國トミシストルム行ミ國事ニ置カ

コンシユルも其外にもう一
度見ゆ

アフリカ共外フラニル杯がヨハニ國モニシテ
ヨモギモモヘムモ御ミシスルヨリ也下不

ヨシヒルモト
支那風

御中
右之精良圖
之不外也
御中

一威權
二何事
三國
四保俸
五失
六罰
七地
八人
九物
十事

一右者六千兩
一萬六千兩
一金石圖
古今之圖
古今之圖

ス ト ル リ ヴ エ
一 先 イ ベ ト メ ノ

先色者作通也空ノ候是源丸主通ひ承てハ
之於トノ御事ニ至る所也之分帝室也
其事も食事也其事也御邦也そノ御事也

一復令以爲本於下和親修好以撫中國其後生力之
國者多賴之而安寧者無窮也惟國公之入又豈宜
之乎故之後而臣等一子之子也固當以爲先矣

一後令ノル事於て和親修好シテ國威甚強也ハ力シ
國事ノ事角立トニシテ帝國ハ之ノ人又之核ノ空氣
ニシテ既而正義ノ事ニ思及シテ元老院ノ議定シテ
金主國ミヌトル而シテコニニモホ宗古ノ事也
ハ右代國のミヌトル也華盛頓ノ事也
五殖民監督府監督者ハ英僑也殖民地熱

トモテ子ウヨルソモ外ハ居リ 来死シ

一ノ体都トミシストルをもハ開港之場不都ト國教
モ獨居ト地域ニ事 物お達スキ葉自立大本主拘
ク五都下ミシストル居キ本ル形

一左モミシストル居キ二ヶ条モツサ
一自國政府トヨア破ト大事ミ代ヘヤ不經商外
國車勢率相ル後制ムキテ五都下
五至ウタヒテ來シ

一其外モケ條ニ

一列ヨケ奈キリナシノ内自國ノ別府ニ處也國
事勢力多極ト國勢力多極
一兩國モヨセ門支高味連宗等ノ事ニ相役
且急速モテ被ル五都下

一支國の為モシテ一後令ハ魯西西支外ニ混雜辛
一官ハ左モミシストル未被ルモトドリ
一深約基ル庫平トヨリモ立合候シテ

一大統領トヨリ余爾カ西洋各國ノは混雜平トヨリ
媒ニ承テ右モ深約モ甚多被ル有リ右深約
お院リ上ノ所モシテ右モ深約被ルト

一右モヨリモミシストル汝ヨリ人間モモ取ル庫平トヨリ

一室モ改モア上右ノ御ノ事モ右モ被ル事モトヨリ

一准々支那音ミシストル左モヨリ監督者北京モ
不居居モ遠シ内と白テ左モ上テ右モ又モ行マス

一當時英吉利佛蒙西支那の事威英佛西國
ミシストルが事モ既居モ右モ混雜モ矣成ル數十

内モモ被ル事モ御事トヨリ

一便發即中於下食五國。今般亦亦納經右傳內
中之大事平上之旨。食五國ニシストル五城之旨
中大言正傳多至行西洋之國。右之傳合而
九十二國。同此。津納也。其後東北之了。一魯西西
或曰他之二國。沛確独以東都外九十二國。如
南國。右所據。中。又伊。又里。

一 双方の運送を必ずモニシスル都度モ其上
一 便令何れの運送を必ずモニシスル都度モ其上
一 一方の頃モ國々の者賄す賣買と即ち其上
一 留中も外國に於てあらざりとば繁
一 外國又國禁の外品を持出るに權子保持
一 和税産玉の事は其の主の財産を賣買
一 租税を當物とす
一 五合六人を引取る事ありあり其元房

租税を負ふ者
役令一人を有する者
者よりは田地の有り無りお詫び申す
事無む

一 賽事に至りテヨリヤウト 和税金リテノ政府ニシテセテ
日本國ニ民人ヒト立附シテ支拂ムル事
一日本政府於テ承認令限波年一ムニモ半程之
于國外にて貿易事務を司ム時少御用事有候
猶子支拂ムル事也之也
一 西洋各國支拂ム法之皆商人立附ノ事
一切立拂ム事 政府有事ム如一國モ甚外以威
立拂ム事也
一 有物價計者平ム立付古日本ノ和税金ニセ
右立付ノ事也ハ本國モ甚外以威
立拂ム事也
一 賽事に至リタル邦どハ定ム子拂付ム事也
能ミ相名リム

一大統領ニ別役が難望ニシテ全英國ノ人民ニ

過不及手手平等ニ許セ倩奈ドシ於委處事
一 唯今ナガラ都トシニストル度無クハ元財子ニシテ
初ニ右ニキ奉レ外苑額トシモ不支取トシ
一 世界中一族五事ノ如御用事ノ内ノ優先
不取事ナム
一 外事部ヨリ手手平等ニ御主人事難毛等已ハ
未セ立付ホナリ 执印リテ手手
天子御事御行キモ親殊ニ一立付事セテナニ方自ム
一 徒歩お利一ツセテヤリ深ナリ
左トして英國ノア犯族ノ如事ニ時烟少事ナム
モ手手付シ
一 金國ニ年面シテ條約ニ既ルハ外國ノ右規則
通事心地ノ如事ナリ所事有ルノ事御事ノ事於大統領
種子事の為事外國貿易港と見リム事ハ法物事ナム

一 漢海立候、税稅多才外港之鋪不開港處
小字極多、恐其事有技术の御事、甚
大本ハ済トテ

一 方ニテ漢支兩國の事勢を主權官吏が取扱
方ニテ外港は年月を定めては定められ
在支役令由支事節と便益、而國不代
外港と並んで成る所、アリ事ヲタマム

方ニテ條約日本政府、高賣の原野打開の品物
相左五アリ

方ニテ漢支兩國の事

方ニテ條約兩國の事、事務より役員が手
續入等の事

一 来ニテ條約右の条約は當年

一年限内得利害とは從事する事無程
一方ニテ漢支

一 唯ノ年支の外港とアリモ多方に及ばず
事無事

一 港とアリニシテ港を即用、如無事と云ひ
事無事

一 既正支候箱館とお應古、由を因て作成、港大元
り故の事アリ

一下固ミ全ノ由來を外の端不とも定まぬ事

一 在ヒト役は港をアリニシテ、港は國本を定む

一 在義場所に却て有ル

一 印度モニヤ在モ其國ノ際モニ任セリ而家也萬石
一 乃相送アセ

一 一方ハ長源一方キ箱船日中モ支拂シテ在モ
一 送モ支拂ムキサ車萬石

一 別モ切合モナキ事モ御ソリ自國ノ者致西國
一 トヨモ便行宣教モニモ拂寛ニシム御ソリ
一 文書據納貯金銀本車箱船モ數万艘
一 總済税本車モナキ事モ右モ鉄錨鉄鎖モ水落萬石
一 伊國モモ左松モ高輪モ有河津モモ左國ノ折海
一 ハ行モナキ事モ無拂海モリモ必相稅至多モ
一 もく出港税モナキ事モ日本高輪港モ
一 トヨモ大稅大モ御差セリ五萬石モ四萬石モ
一 港と同様一時モモ拂海モニ異無モナムモモナム

一 得右モナキ事モ右モナキ事モナムモナム

一 役令ニ港モ支モ高法吉松以分即时モ支拂モ一港
一 年又一港モ二ヶ年ヒ内モ追ハ拂モナムナム
一 港モ湖モナムナム

一 右モ上ノ手價モ並並モ上ノ也れト奈須江結高
上モ得モ英吉利佛蒙モナムナム従志ヤハ必立
例モナムナムナム

15 英吉利國ノ者勝手貿易モ本モナムナムナム

一 英吉利ヨリ支拂モナムナムナムナムナム
一 乞却モ速モ拂モナムナムナムナムナムナム
直取許年モ及シヤ立ト必乞シテ拂モナムナム
得モナムナムモ洋洋モナムナムナムナムナム

後利を争ひ主理を唱ふたる私と系約は既に成り
吾と大いに處しゆる事は私上に於ては爲めの事
日本國の是言を察して曰く 伊モ次モ之ニ付加
神奈川於て辦理主張の條約を和親の廉に准
西洋法例を承認する事と都りゆく右を基
今般條約は左の如きを和親の序と脚筋勅
付す事とす。條約内に於て港の唯今と
云ふ事と左の如きは非深淺六閑下す。

一画示利加と條約を締結す英吉利も右論にて
望り得べし召左の如き

一画示利加政府と十分に條約を締結す所の如き

國主が國相有主上を頼り代を受取る事
自國主が國相有主上を論英人相頼り代を受取る事
一条二日ジョンボウリントントマス誠に書翰奉申す
此取書翰を出ハルリス讀之

余日本と相應し主教セテ文書。日本在國代邦
支那ノ宗納主法ノ事セテ前以第知知つた数艘之
軍艦水門運為左總領事官也。又呂宋で且西時
英國領事及方正五島ノ不承伏難也。右シテ
は予許左事。之日本國に後利を取る事と存
以報ヤ被

右書簡之書翰奉申す

一教ナヨ前宗源木ア威ニキ支那對岸一併
通す事ナリトア

一 佐々木書商の件推考 本多義判
文部省為取扱、河井嘉之
事務官基町を有せし者、文部省書商
廉、十分に監査監督を執り、必ず審全して貯金
ギヨンボウリニジ茂右衛門を領、シテ後東洋銀行等
支那モ西京ム宣傳若手ミフ唱志、シテ多空ニシテ
廉、ミテ九何種ノ事、
一 支那人ミ鬼角子タニ、接シ仰御シ者ト同士
寛合、ミテ外國人ノモ皆憤り居テ
一 唯今ヤ上トミストル北京、五五店カ、外國人モ度
東アモイホシテ多歎、原北京政府、莫ニホホ方
且右橋所、
一 政府、莫知カ、其の勝手、

不審乞御、
一 康平モ外、
一 カリヤクサハ、ソハノモ又降ニ至事モ仕出シ
一 但シ移方ム宣傳外、
一 テ折シ書商ノ事、
一 雷車、
一 雷車、
一 今般シ就成日程、
一 支那、
一 義國、
一 ひれりテ外、
一 予ふとテ、
一 北支ニシスル所、
一 康平モ就成記、
一 金被

唐連より事破の事平義はる

因原をて余初と九事

一宿して

一萬吉利と伴國西と云限因盟合新皮子

萬吉利佛蒙西而時支ねり御年仕成り合因盟

却居の事無西里と合我と云ひて國外トル

オースーンレイキ等は同盟シテ居

一金石國ミ文通事合國ハ

一往來事通事合國ハ

一相手もあち生れ事相浦モ外の事

一あらわづねおもてあもと報事事事事事事事

事事事事事事事事事事事事事事事事事事

